

高等部3年 校内・現場実習を通して

～保護者の視点から～

高等部3年生は、6月23日(月)から7月4日(金)までの10日間、校内・現場実習を行いました。

今回の実習では、「働くとはどういうことか」「自分にはどんな仕事が合っているのか」という『働く』部分だけでなく、『働く以外』の部分にも意識を向け、生徒自身や支える家庭が卒業後の生活をより具体的にイメージするための大切な実習となりました。高等部3年生の保護者の方からのアンケートを一部紹介します。

- ・実習中は毎日疲れて帰宅していた。働くためには体力が必要になる。食事をしっかり摂ることや、早めに就寝することなど、次の日に備えるように生活を整えていくことが大切だと感じた。
- ・送迎の時間と自分の仕事との兼ね合いが難しかった。福祉サービスも利用した。
- ・昼食代や交通費として渡したお金を、おやつ代などに使うことがあった。本人と使用目的や、お金の配分を確認したりすることが大切だと感じた。
- ・できているつもりでも「挨拶、返事、報告の声が小さい。」と実習日誌に記入されることがあった。「できる」「努力が必要」には、親も客観的な視点から見るのが大切だと感じた。
- ・外作業が多く、帰宅後すぐに洗濯をする必要があった。自分で泥を落としてから洗濯機に入れるなど、自立して働くための意識付けをしていきたい。
- ・生活リズムが変わることで、変化が大きかったのは親の方だった。

～高等部2年生 校内・現場実習～

高等部2年生は、6月2日(月)から6月13日(金)の10日間、校内・現場実習に取り組みました。初めての現場実習で、緊張する生徒がほとんどでしたが、徐々に職場の環境や、仕事の内容に慣れ、働くことの楽しさを感じたようです。実習の事前学習で自分の目標を具体的にしたことややるべきことが分かり、現場では、目標達成のために一人一人が一生懸命に作業に向かう姿が見られました。生徒にとって達成感を得た実習となりました。一方で、体調管理や生活リズムを整えることなど、課題も見られました。今回の実習での経験を、自信につなげ、学んだことを今後の学校や家庭生活で生かして欲しいと思います。



ダイハツ本荘店:洗車作業



ナイス本荘インター店:品だし作業



鳥海フォス:解体作業

～高等部1年生 I期校内実習～

4月に入学して2か月がたち、6月2日(月)～13日(金)10日間の校内実習に臨みました。はじめての実習に不安をもちながらも、事前に作業を体験したことで「できそう」と前向きな姿勢で臨みました。実際に取り組んだ各作業班の出来高は、委託された業務をすべて終えたことはもちろん、出来栄良く完成しました。しかし、個人の出来高を曜日ごとに見ると課題が見られました。

1週目の3日目までは順調でした。元気の良い挨拶、働く意欲、集中する姿が見られ、出来高はどんどん増えました。しかし、4日目からは疲れが見られ、出来高は下がりました。体力面や、いかに生活リズムを整えることが大切かを知ることができました。2週目の疲れはより顕著に見られました。

初めての实習での目的は「技能習得」や「報連相」以上に「働くために必要な土台作り」の大切さを知ることでした。職業準備性ピラミッド(※ぜひ検索してください)で表される健康管理、基本的な生活リズムの大切さを知り機会となりました。今後の学校生活では、心と体を整えることを大切に過ごしていきたいと思ひます。



中学部 I期作業学習パワーアップ週間

5月27日(火)から6月2日(月)までの5日間、「I期作業学習パワーアップ週間」を実施しました。この期間は、通常の作業学習の時間を拡大し、生徒がそれぞれの目標に向かって集中的に取り組む貴重な機会となりました。作業学習は、将来の自立に向けて必要な「働く力」を育むことを大きな目的としています。具体的には、「計画性をもって作業に取り組む力や集中力を維持する力を養うとともに最後までやり遂げた達成感を味わう」ことを通して、自己有用感を高めることを目指しています。

週の始めは、慣れない長時間作業に疲れを見せる生徒もいましたが、日を追うごとに集中力が増し、積極的に活動する姿が印象的でした。最終日に行った報告会では、各班で製作した製品を披露したり、具体的な出来高を発表したりしました。目標を達成できた喜びや、仲間と共に一つのことをやり遂げた達成感が、生徒たちの表情から溢れていました。

この「パワーアップ週間」で培った集中力や粘り強さ、そして達成感を、今後の学習活動や、次回の「パワーアップ週間」へとつなげていきたいと考えています。生徒たちのさらなる成長にご期待ください。



木工班:マグネットバー製作



農園芸班:ねぎの苗植え



手芸班:ポーチ製作



陶芸班:おともだちマグネット製作

第24回秋田県障害者技能競技大会～アビリンピックあきた2025～

本校高等部からワード・プロセッサ部門に2名、オフィスアシスタント部門に1名、ビルクリーニング部門に3名の生徒が出場しました。大会結果は以下の通りです。おめでとうございます。

オフィスアシスタント部門 銅賞 高等部3年 加藤 涼

出場した6名の選手は、前日まで放課後を中心に練習に励みました。当日は、たくさんのギャラリーが見守る中、緊張もあったと思いますが、最後まで諦めずに課題に取り組み、競技終了後の達成感に満ちあふれた表情はとても印象的でした。

